

簡 単 操 作 ガ イ ド

- ImageCreate SE -

『ImageCreate DBL』から『ImageCreate SE』へのデータ移行手順

対象ソフト: ImageCreate SE

概 要

ImageCreate DBL のデータを ImageCreate SE へ移行する方法をご説明します。

【移行手順】

- ① ImageCreate SE で ImageCreate DBL のデザインファイル(*.IDD)を開く
- ② ImageCreate DBL で使用していたデータベースをインポートし、差し込み設定する。

本書は、下記機材を使用して記載しているため、環境が異なった場合、操作方法に若干の違いが出る可能性があります。

- ・ CX-G4400
- ・ Windows 7

【制限事項】

・ImageCreate SE で ImageCreate DBL デザインファイル(*.IDD)を読み込むことが可能ですが、読み込み時にはソフトウェアの仕様の違いにより、ImageCreate DBL で作成したファイルと同じイメージで取り込むことができない場合があります。

詳細は ImageCreate SE のユーザーズガイド「[ImageCreate シリーズのファイル互換性について](#)」をご覧ください。

■ 前提条件

- ① ImageCreate SE をインストールし、最新のバージョンにアップデートしてください。
 - 最新のアップデートは、キヤノンホームページからダウンロードしてください。
 - 本ガイドでは ImageCreate SE Ver1.0.6.0 を例としています。
- ② ImageCreate DBL で使用していたデザインファイル(*.IDD)をご用意ください。
- ③ ImageCreate DBL で使用していたデータベースファイル(Excel や Access のデータ)をご用意ください。

■ 注意事項

① ImageCreate シリーズのファイルの互換性について

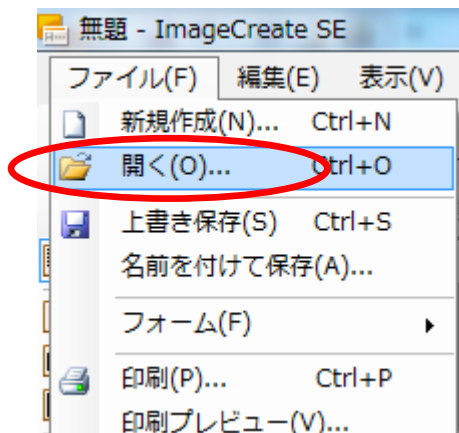
ImageCreate SE で ImageCreate DBL デザインファイル(*.IDD)を開いた場合は、ソフトウェアの仕様の違いにより、ファイルが開けなかったり、本ソフトウェアの仕様に合わせた処理が行われたりすることがあります。詳しくは、「[ImageCreate シリーズのファイル互換性について\(P.376\)](#)」をご覧ください。

② データベースの項目数制限について

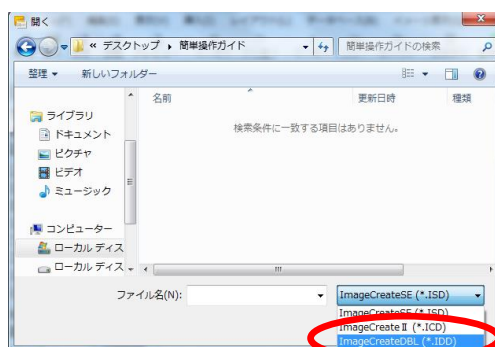
本ソフトウェアが取り込めるデータベースの項目数は、最大 60 項目までです。項目数が 60 個を超えているデータベースは読み込めません。

1 ImageCreate SE で ImageCreate DBL のデザインファイル(*.IDD)を開く

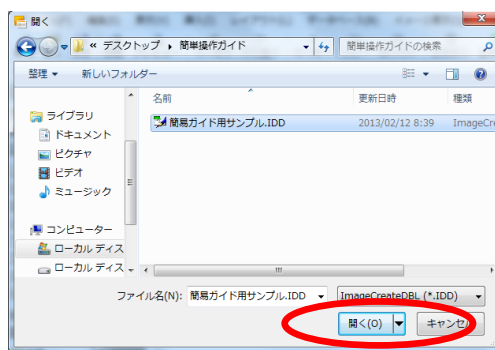
1. ImageCreate SE を起動し、[ファイル]から[開く]をクリックします。



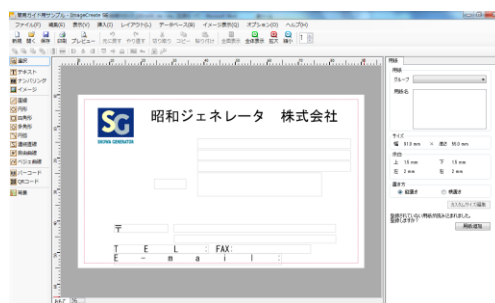
2. ファイルの拡張子のプルダウンメニューから「ImageCreateDBL(*.IDD)」をクリックします。



3. ImageCreateDBL デザインファイル(*.IDD)が画面上に表示されます。目的のファイルを選択し「開く」ボタンをクリックします。



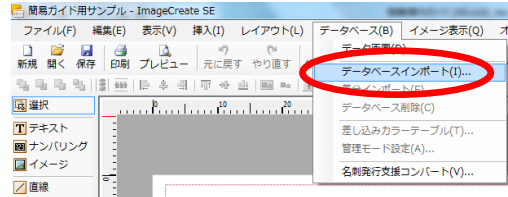
4. ImageCreate DBL でデザインされたレイアウトが ImageCreate SE 画面上に表示されます。



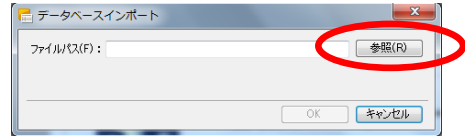
以上で、ImageCreate DBL のデザインファイル(*.IDD)が開きました。
次にデータベースをインポートし差し込み設定を行います。

2 ImageCreate DBL で使用していたデータベースをインポートし差し込み設定する

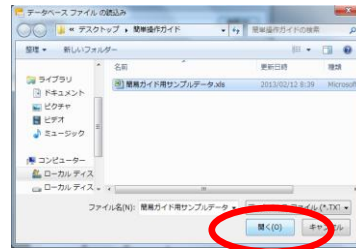
1. [データベース]から[データベースインポート]をクリックします。



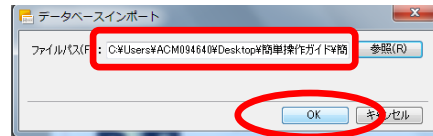
2. [参照]ボタンをクリックします。



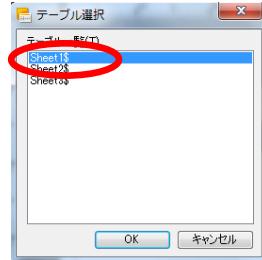
3. [データベースファイルの読み込み]画面が表示されます。使用するデータベースファイルを選択し「開く」ボタンをクリックします。



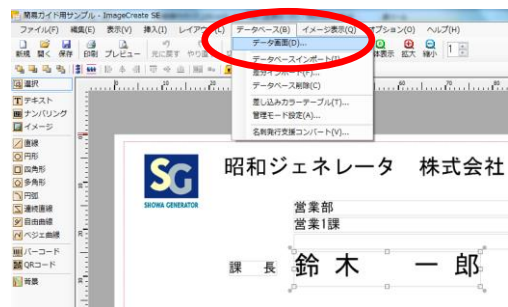
4. 「データベースインポート」画面に 3 で選択したデータベースファイルのパスが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



5. 使用するテーブル(Excel のシート)を選択し[OK]ボタンをクリックします。



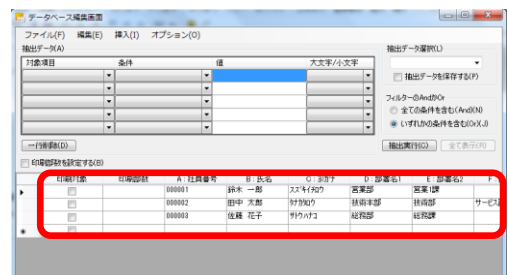
6. ImageCreate DBL で差し込み設定を行っていた場合、データベースをインポートすると ImageCreate SE でも自動的に差し込み設定され画面上に表示されます。



データベースが正常にインポートされていることを確認します。

[データベース]の[データ画面]をクリックします。

「データベース編集画面」でデータがインポートされていることを確認してください。

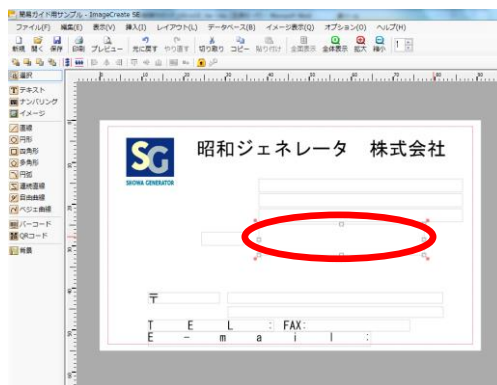


以上で、データベースをインポートし差し込み設定する手順は終了です。

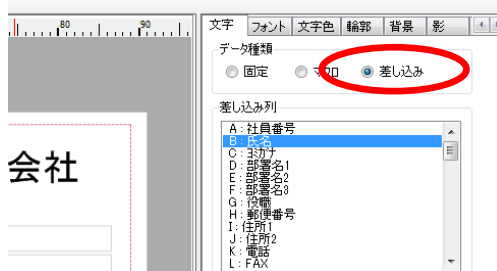
補足 データベースの差し込み設定を行うには？

上記②でデータベースの差し込み設定が反映されない場合は、下記の手順で差し込み設定を行ないます。

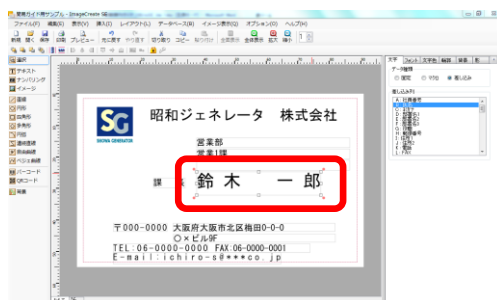
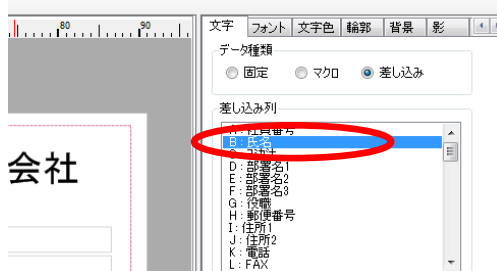
1. レイアウト画面でデータを差し込む文字オブジェクトを選択します。
ここでは例として「氏名」が表示される予定の位置にあるテキストオブジェクトを選択します。



2. 文字プロパティの[データ種類]から[差し込み]を選択します。



3. 差し込み列にフィールドの見出しが表示されますので割り当てる項目を選択します。文字オブジェクトに最初のデータベースから該当するデータが読み込まれ表示されます。
ここでは、差し込み列で「B: 氏名」を選択します。テキストオブジェクトには「鈴木 一郎」と差し込み表示されます。



同様の手順で、各文字オブジェクトを差し込み形式に設定してください。

※ ImageCreate SE では、宛名 Pro-1 と同様に画像を差し込み印刷することが可能です。詳細は、ImageCreate SE のユーザーズガイド「データベースを活用した名刺の作成」をご覧ください。

お客様相談センター

全国共通電話番号

050-555-90064

受付時間 [平日] 9:00～17:00

(土・日・祝祭日と年末年始、弊社休業日は休ませて頂きます)

お問い合わせの前に

- 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-5428-1344 をご利用ください。
- 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

簡単操作ガイド

『ImageCreate DBL』から『ImageCreate SE』へのデータ移行手順

履歴：2017年2月版

制作／著作：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

<商標について>

※Microsoft、Windows、およびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、カタログに記載されている会社名、商品名は一般に各社の商標または登録商標です。